

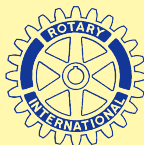
VOL. 2716

Rotary International

「新たなる挑戦と奉仕で繋ぐ人と国」

第2716回例会 2021.7.21

ソング「それでこそロータリー」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平塚本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:石橋 広明
 副会長:佐藤 昌久
 幹事:田村 洋
 副幹事:佐野 力哉

会長挨拶

石橋 広明



20日東京で新たに1387人の感染確認がされた中、7月23日に開幕する「2020東京オリンピック・パラリンピック」ですが、選手村に滞在する海外から入国した1人が新たに新型コロナウイルスに感染したことがわかりました。一方で、22

日に日本と対戦する予定の南アフリカのサッカー男子の代表チームで、感染されていた21人について、大会組織委員会は、濃厚接触者は18人になったと発表を訂正しましたが、19日のPCR検査で全員が陰性だったそうです。目の前に迫った一次リーグ初戦の日本戦が無事行われることとなり、安心してるところであります。また、ビーチバレーのチェコ代表の男子選手で陽性反応を示したということです。

このほか、海外から来日した大会関係者1人と、日本在住の委託業者6人、大会ボランティア1人など、組織委員会が検査で陽性と発表し、新型コロナウイルスに感染した人は海外と国内合わせて67人となりました。新型コロナウイルス感染者が増える中ではありますが、7月21日の開幕前には、先陣を切るサッカー女子・ソフトボール初戦に問題なく意欲を燃やした熱い戦いを期待したいものです。この1年数カ月、世の中にあふれかえった漢字といえばコロナ禍の「禍」であります。

意味は、「わざわい。思いかけない落とし穴。思いがけなく受ける不幸せ。」とあります。思いがけない落とし穴の中で、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが始まります。

災厄を何とか乗り切ってもらいたいと願う中で、土壇場にきて沸いた新たな「禍」が襲い掛かりました。東京オリパラの楽曲制作を担当するミュージシャンの小田山圭吾さんが、かつて雑誌のインタビューで学生時代のいじ

め加害を吹聴していた問題であります。非行をただす声は大きく広がり、ついに降板に追い詰められました。紛れもなく、東京オリパラ大会の「禍」を増幅させる陰惨な過ちであります。残念でなりません。しかし、何事も「禍福は糾える縄の如し」で私は、東京オリパラの成功を切に願うものです。

さて、本日は、お忙しい中での太田ガバナー補佐の訪問であります。2021～2022年度のクラブ方針を語っていただき、ご指導いただければと思っております。後ほど、ご講演をいただきますのでよろしく願いいたします。以上で、挨拶といたします。

親睦委員会

望月 昭宏

会員誕生日 塩谷 知一 S53.7.21
 吉田 浩之 S27.7.26
 加藤 仁一郎 S35.7.17
 家族誕生日 木村 仁 S46.7.17



お誕生日
おめでとう
ございます

☆私のスマイル

瀧 真砂人君 新社屋がオープンしました。機会があれば皆様に見学いただきたいと思います。

出席報告

望月 昭宏

2716回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
31名	31名	8名	23名	75%

2714回 7/7確定

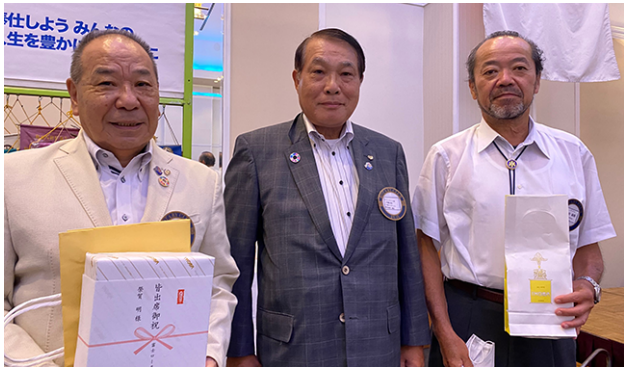
会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
31名	31名	4名	27名	88%

〔ビジター〕 ガバナー補佐 太田義隆君
 ガバナー補佐事務局 吉田浩之君

例会プログラム予告

7月28日 期首クラブ協議会（委員長報告）

8月3日 ガバナー公式訪問合同例会 ホスト：新富士RC



皆出席者

榮賀 明 太田 義隆
(前回載せられなかった方)

ガバナー補佐期首訪問卓話



この度、7月より本年度2620地区静岡第2グループガバナー補佐に就任しました、太田義隆です。

今月初旬に発生した熱海での豪雨による土砂災害における行方不明者の早期判明をお祈りするとともに犠牲者の心よりご冥福をお祈りいたします。

先日行われたガバナー補佐会議にて2023-24年度ガバナーノミニー中村皇積様よりの資料をもとに「これからのロータリー」という内容でお話したいと思います。

先ず、Shaping Rotary's Future(ロータリー未来形成)略してSRFについてです。ロータリーの先駆者達は世界或いは社会に対して立ち止まらず変化し成長しなければならないと述べています。特に近年では世界的新型コロナ感染、日本では人口問題等の時代の変化が著しく早く変化していきます。この様な状況下においてロータリーも変革の時代になり、SRFの必要性があると思います。

SRFではクラブを支援する構造、地区、ゾーン、地域、理事会が編成され下記1.~3.となります。

- 1.世界のロータリーは530ほどの地区、34のゾーン、41の地域に便宜的に区分されています。これを言語、文化、民族などを基準に30位の地域に簡素化して1地域に一人の地域カOUNCILを置きます。また、現在の世界530余りの地区は細分化されて1500から1800位のセクションに分けられます。
- 2.現在の理事の任期は2年、ガバナーの任期は1年ですが、地域カOUNCIL任期は3年、セクションリーダーの任期は2年となります。地域カOUNCILもセクションリーダーも選挙で選ばれます。
- 3.現在の役職はRI理事以下、地域リーダー&補佐、ガバナー&補佐、地区委員長&幹事、クラブ会長となっておりますが、地域カOUNCIL、セクショナルリーダー、クラブ会長となりシンプル化されます。

SRFはパイロット地区において、2023-24年度にセクションリーダーエレクトが置かれ、翌2024年7月から6年間試験的プロジェクトが行われます。そして、様々な検討がなされ、正式には2030年から全世界で実施される予定になっております。

次にSRFを見越した2023-24年中村皇積ガバナー年度におけるガバナー補佐選出方法の変更です。現行のガバナー補佐選出は8月で就任9ヶ月前より研修が始まりますが、変更後は1年前倒しで本年8月に選出し就任前1年9ヶ月の研修期間となります。これによって十分なスキルアップと研修が可能となります。候補者については、クラブ輪番制を超越して意欲と能力がありクラブ支援を発揮できる方を推薦して欲しいとの事です。



上期クラブ協議会(2)

ロータリー財団委員会

委員長 佐野家弘



当クラブの財団委員会の活動はロータリー財団、米山奨学会、ポリオ基金への寄付と地区補助金の活用、ロータリーカードの加入推進等です。

- ・ロータリー財団は各クラブが実施する各種プログラムを財政面から支援する団体で、その財源はロータリアンの寄付のよって賄われ、寄付金は国際的活動資金として活用されています。
- ・米山奨学会は外国人留学生に対し、国際理解を深めるために寄付金を財源として奨学金を支給、援助することを目的としています。
- ・本年度、世話クラブとして静岡産業大学に留学されているスミルナさん(インドネシア出身)を受け入れさせて頂きました。
- ・ロータリーカード加入推進については、ロータリーカードで買物をする、利用額の0.3%が寄付され、ポリオ根絶支援基金として活用されます。加入へのご協力よろしくお願い致します。

本年度 クラブ要請事項

- 1.ロータリー財団寄付 US\$150/人・年(ゼロクラブ・ゼロ)
- 2.ポリオプラス \$30/人・年(ゼロクラブ・ゼロ)
- 3.ベネファクタアー(各クラブ1名以上)
- 4.ロータリーカード加入推進
- 5.地区補助金、グローバル補助金の積極的な活用
- 6.米山奨学生支援(世話クラブ・カウンセラー引き受け)
- 7.米山奨学会寄付推進(¥16,000/人・年以上(普通・特別寄付合算))

編集者 植田 眞 晴